

# 「理数が楽しくなる教育」実行委員会

## 設 立 趣 意 書

狭い国土に多くの人々が暮らす日本が世界の中で生きていくためには、素晴らしいアイデアや工業製品を生み出す科学技術創造立国であることが重要である。しかしながら、1992年度には66.7万人いた工学部系志願者が2005年には37.5万人に減少するなど理科離れが顕著となっている。またOECDが2006年に実施したPISA（学習到達度調査）によると、学力低下もさることながら理科が楽しいと感じる子が少なく、科学に対する興味や関心が最低であることが判明している。このように我が国の理工系を取り巻く状況は大変厳しく、国の将来を左右する大きな問題であり、今後も科学技術創造立国を推進する為には、理数教育の大変換が求められている。

このような中、小学生・中学生を対象にもものづくりや科学体験を基盤とした新しい理数教育の試みは比較的多く実施されており、例えばJAXA宇宙教育センターや日本宇宙少年団(YAC)では、実践的で子どもが楽しみながら理数を学ぶための様々な教材が作られている。しかし理工系への進学の際となる高校生や専門的に理数系を学ぶ基礎を築くべき大学1～2年生においては、座学を中心とした「知識を習得する」事に主眼を置いた教育が主流であり、今後、この年齢層の生徒・学生に興味を持つ新しい理数教育を推進することが強く求められている。

そこで高校生や大学初等教育に於いて、生徒・学生が楽しく理数を学び、科学技術創造立国日本を支える人材となるための教育を推進することを目指し、「理数が楽しくなる教育」実行委員会を設立する。生徒・学生が主体的に学び、自発的に考え、行動することが出来るように「子どもの心に火を付ける」教育を実施する。